

令和7年度9月議会から

令和6年度決算
池田町議会の
附帯決議

令和7年度
財産取得議案
トイレカー
トイレトレーラー
合わせて
3台購入

令和7年度補正予算
新農業法人
アグリ株式会社
株式増資
180万円は?!

令和6年度決算
決算状況
黒字?赤字?
町の財政状況は

令和6年度決算
好評価事業

- ・小中学校の給食費無償化
- ・町営バス18歳以下無料化
- ・多子世帯保育料の軽減

町長が
議会・農業者
の声に応えた!

9月定例会報告目次

令和6年度決算審査の概要	2
決算審査付帯決議	4
一般会計補正予算・質疑	5
令和7年度購入財産議案	6
議会最終日討論	7
審査結果一覧	8
一般質問事項	10
町民の声	16



令和6年度決算

★6会計全て黒字決算

- ・基金残高(貯金) 29.4億円(3.5億円増)
- ・町債残高(借金) 63.0億円(7.6億円減)
- ・実質公債費比率※1 11.9%(0.2ポイント減)
- ・経常収支比率※2 87.4%(0.2ポイント増)

対前年増減

- ※1 実質公債費比率とは、借金返済費(公債費)の標準財政規模(通常な状態で得られる収入(町税+地方交付税)の総額、35.9億円)に対する比率で、低いほど良い。
- ※2 経常収支比率とは、毎年使われざるを得ない経費(人件費、扶助費、公債費など)の毎年入る収入(町税、地方交付税など)に対する比率。この値が高いと行政需要の変化に対応する施策に充てる財源確保が難しいことを示す。

令和6年度決算概要まとめ

■一般会計・特別会計※4は黒字

決算額	一般会計※3	工場誘致等特別会計	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計
A歳入額	51億4,922万円	608万円	9億7,555万円	1億9,237万円
B歳出額	50億6,257万円	0円	9億6,848万円	1億9,203万円
黒字額A-B	8,665万円	608万円	707万円	34万円

※3 一般会計とは基本的な行政サービス(教育・福祉・土木など)を行うための経理。

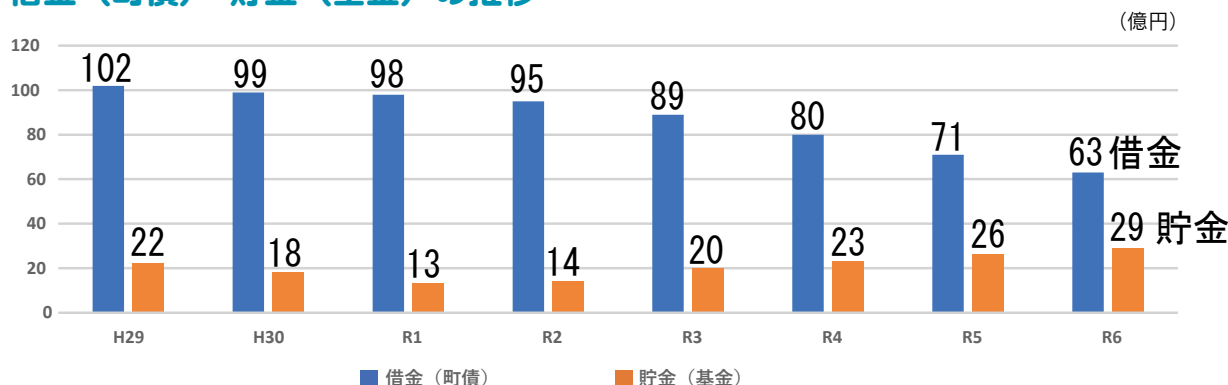
※4 特定の事業を行う為に、特定の収入を充てて経理を行う会計。
工場誘致・国民健康保険・後期高齢者医療事業など。

■企業会計※5も黒字

決算額	水道事業会計	下水道事業会計
A総収益	2億3,266万円	4億3,575万円
B総費用	1億8,204万円	3億6,639万円
純利益A-B	5,062万円	6,936万円

※5 企業会計とは、水道事業、下水道事業等、独立採算制で運営される事業の会計。

■借金(町債)・貯金(基金)の推移



決算審査の

質疑から

●人件費を抑える努力は

問 町の人件費が10億円に近い。抑える努力は。

答 世の中の賃金上昇や会計年度職員に勤勉手当を出すようになり人件費増はやむを得ない面はあるが、抑えるよう考えながら行っている。

●不法投棄の状況は

問 6年度の不法投棄の記載がないが、どれくらいか。

答 空き缶、空き瓶、廃タイヤ、家具など46件、1,395kg(10.7万円)を処分した。

●プラスチック処理費用の増額の理由は

答 今までプラマーク資源のみ回収していたが、6年度から100%プラスチックであれば回収するようになったため。

●保育園給食費の考えは

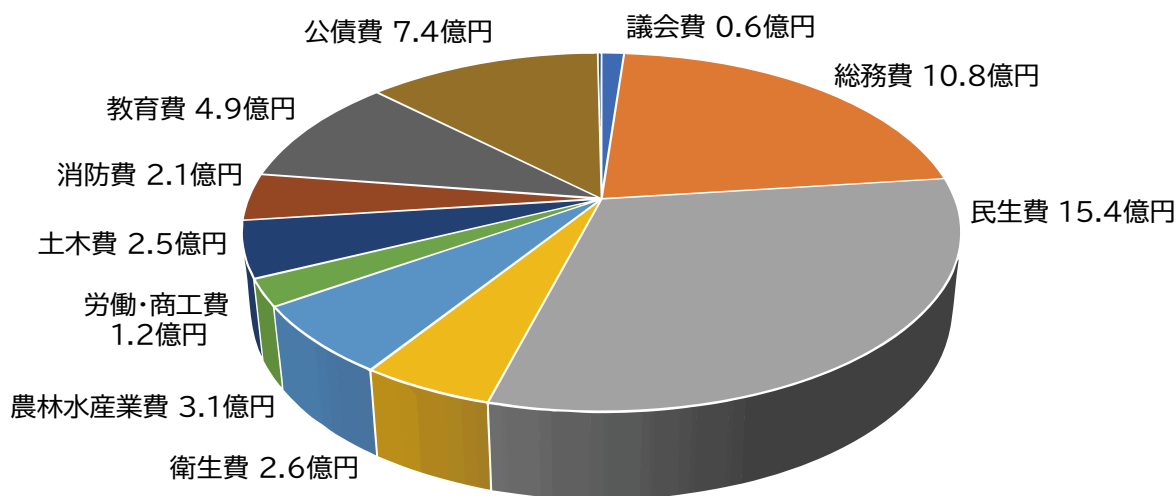
問 園児数が減っているが、物価高のなかで保育園の給食予算は例年どおり、要求するののか。

答 給食単価を落とさず、栄養価の高い給食を提供していく。

決算審査

予算決算特別委員会は議員全員で2日半にわたり、令和6年度各会計決算書（一般会計、工場誘致等特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計）について審査した。その結果、財政状況が改善傾向にあるが、更なる経費の見直しと財源確保が求められるとした。また、全体的には、おおむね健全な事務・事業の執行が図られたと認められた。さらに、決算審査の重要事項を「令和6年度決算に関する附帯決議（4頁）」としてまとめ、理事者への対応を求め、全議員の賛成で、令和6年度決算を「認定」した。

令和6年度歳出決算額 50.6 億円



令和6年度各課の主な事業

健康福祉課

- ・小中学生の生活習慣病予防への健康指導強化

学校保育課

- ・学校給食費無償化実施
- ・多子世帯の保育料軽減
- ・不登校児童の居場所として中間教室を稼働

総務課

- ・ふるさと応援寄付金1億2500万円達成
- ・全棟空き家調査

住民課

- ・町営バス小中高校生無料化実施

生涯学習課

- ・美術館指定管理者への指導強化

建設水道課

- ・会染西部ほ場での高収益作物栽培開始に向けた耕作条件の改善

振興課

- ・10年後の農地利用の姿を明確にする「地域計画・目標地図の作成」

●地域計画のコンサル委託は必要だったか

問 町は地域計画の策定をコンサルタントに委託して行った（委託料495万円）。近隣町村は職員が地域にしかけて行っているが、どのように考えるか。

答 農業委員会の事務局は一人体制なので、業務委託によりスムーズに目標地図素案を策定できた。

問 地域にしかけ生の声を聴き、策定した方が良かったと思うか。

答 今後は地域にしかけ、皆さんの声を聴取することに徹していく。

●部活の地域移行の取り組みは

問 地域移行を実現した部活はあるか。また、なくなる部活はあるのか。

答 ソフトテニスは地域移行している。今ある部活は地域移行できるよう取り組んでいる。

問 吹奏楽部の地域移行の現状は。

答 地域の指導者は目星がついた。学校の先生のいない状態で、土・日曜日に音楽室を利用して活動する場合の体制をどうしたら良いかを検討している。



9月議会の決算審査のなかで、特に重要と思われる事項を「附帯決議」としてまとめ、町三役に提出し、議会として今後の町政運営に活かしていただくよう求めました。



令和6年度決算に関する附帯決議書

1. 財政の健全化について

町の財政は改善傾向にあります。持続可能な財政運営に向け、以下の点に留意され、更なる財政基盤の強化に取り組まれます。

①「企業版ふるさと納税」について

令和6年度、新たな財源として「企業版ふるさと応援寄付金」を獲得したことは意義深いことと評価する。今後も引き続き同寄付金の獲得に努め、将来に備えた積立金の増額を図られたい。

②「ふるさと応援寄付金」について

令和6年度の「ふるさと応援寄付金」が、ポータルサイトを増設などの努力により過去最高の1億2,500万円に達したことも、大いに評価するものである。今後は、返礼品に偽装が起きない仕組みを検討されると共に、消費者の目線に立った品目の拡充を図られたい。また、寄付金の活用状況を納税者へ知らせる取り組みを強化されたい。

2. 地域コミュニティと社会基盤の強化について

①自治会活動への支援について

自治会活動における課題解決のため、自治会協議会で課題を協議できるように援助し解決策を共に見いだせるよう支援されたい。

②有害鳥獣対策について

猟友会員の待遇改善を図り、新たな担い手確保に努められたい。また、捕獲された鳥獣を有効活用するため、ジビエの加工処理施設の円滑な稼働に努められたい。

③公共交通対策について

大糸線利用促進期成同盟会・大糸線ゆう浪漫委員会の活性化に努められたい。

④町営住宅対策について

町営住宅の改築に当たっては、居住者の意向を尊重し進められたい。

⑤林中ふれあい公園について

林中ふれあい公園の廃止にあたっては、地域住民の意見を十分に聴取されたい。

3. 教育と文化芸術の振興について

①部活動の地域移行について

中学校の部活動の地域移行は指導者の適正報酬の検討や送迎にともなう保護者の負担増などを勘案し、無理のない地域移行が図られるよう検討されたい。

②文化芸術教育について

小中学校の児童・生徒に対し、無償で音楽鑑賞の機会を提供し、豊かな感性を育む文化教育を推進されたい。

③会染小学校のスクールバス運行について

会染小学校のスクールバス運行ルートは関係者の意見を聴取し、渋中や内鎌などへの運行も含め検討されたい。

④美術館の収蔵品について

美術館の収蔵品については、有識者による再評価に基づき、整理・処分を検討されたい。また、町の魅力を高める新たな収蔵品の確保に努められたい。

一般会計補正予算（第4号）の目玉事業

補正額 2 億 968 万円を追加し、予算総額は 57 億 4,649 万円

◎旧会染保育園改修補助金 7,500 万円

【財源】

- ・ 国交付金 6,100 万円
- ・ 町基金から 1,400 万円

〈町説明〉

来年 4 月からの旧会染保育園での民間保育園開始に備え、事業者（有限会社ネイチャーセンター、長野市）が施設改修を行う。町は、改修費用の一部 7,500 万円を補助する。

【主な改修予定】

- ・ 屋根の全面塗装・照明の LED 化
- ・ 部屋の統合・床を県産材に

【改修見積額】1 億円を越える。



来年度開園に向け改修工事が始まる旧会染保育園

〈委員会での質疑〉

問：今後の建物の維持管理費は。

答：基本的には事業者が持つ。但し、指定避難所となるため電気料基本料金の半額は町が負担する。詳細は今後、さらに詰める。

問：今後の改修工事内容は議会に知らせて欲しい。

答：知らせる。

10月臨時議会、農業法人「信州池田アグリ」への出資金予算を可決!! ～農業法人出資金予算を巡る経過～

【出資金】180 万円

【財 源】町一般財源

〈町説明〉

- 新農業法人は経営会議を 7 回ほど開き協議してきたが、結論がでない。また、法人の代表取締役が病気を理由に辞任の意向を示された。
- この状況を打開するには、町が期限を区切って法人を主導し、町の方針を法人の方針としていく以外にないと考え、9 月 3 日の臨時株主総会で町長が法人代表に就任する旨の議案が承認された。
- 町長が代表取締役现就くには、町が法人株の過半数以上持つことが地方自治法で定められており、不足分 36 株を購入するのに 180 万円が必要となるので計上した。

〈本会議初日・予算決算委員会での質疑〉

問：町長の法人代表は、町財政への影響も考えられる重要問題で、町民への説明が必要である。町農業の課題を解決するには農業者や町民の協力が不可欠である。今回の措置で協力が得られなくなるのではと危惧する。再考して欲しい。

答：社長が辞任を決めた今がタイミングと考え、提出した。理解して欲しい。

〈9 月 17 日〉

町長から農業法人出資金は今回の補正予算から削除し、町民説明会を行った後、再提出したいとの意向が示された。翌日の議会最終日に農業法人出資金を除いた訂正補正予算案が出され、賛成多数で可決。

〈9 月 29 日〉

町民説明会が実施される。

〈10 月 7 日〉

臨時議会に農業法人出資金予算の補正予算議案が再度提出され、賛成多数で可決。

【反対討論（薄井・矢口・安部議員）】

- 町民説明会は開かれたが、町民の理解は十分とは言えない。今やるべきことは、皆でよく話し合い、課題解決の現実的な事業・財政計画を立てることである。それ抜きでは、農業者・町民の皆さんの協力は得られ難くなることを危惧する。

- 第 3 セクターの成功例は少ないことを忘れてはならない。

【賛成討論（三枝・和澤議員）】

- 町長の姿勢を信頼する。1 年半前の議会が法人設立を議決したことを重く受けとめるべきである。
- 農業の課題解決にスピード感をもって、第一歩を踏み出すことは必要である。

全議員の賛成で可決した議案

財産の取得議案（700 万円以上の備品購入には議会議決が必要）

6 年度繰り越し事業

8 月 7 日臨時会

◎気化熱冷風機 8 台購入議案……………968 万円

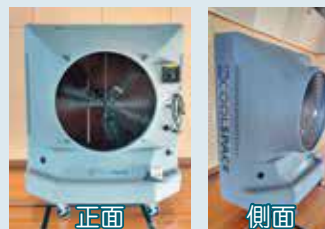
◎簡易ベッド 1,604 台・避難ルーム 592 張り購入議案 ……1,514 万円



簡易ベッド



避難ルーム 2 人用



気化熱冷風機

9 月定例会

◎トイレカー 2 台購入議案……………1,993 万円

◎トイレトレーラー 1 台購入議案……………981 万円



【トイレカー】
車にトイレ（大便器 2 基）
を載せ移動する。



【イメージ図】
【トイレトレーラー】
トイレ（大便器室 2 部屋）を
牽引車に曳かれ移動する。

【財源】総額 5,456 万円

・国庫支出金 2,728 万円 (50.0%) ・町債 1,249 万円 (22.9%)
・町一般財源 1,184 万円 (21.7%) ・町基金 295 万円 (5.4%)

8 月 7 日臨時会

◎一般会計補正予算（第 3 号）…………… 補正額 97 万円

・総合福祉センターのトイレ修繕…………… 26 万円
・デイサービスセンターのエアコン設置…………… 43 万円
・県ポンプ操法大会経費（小型ポンプ操法の部で県大会優勝）… 28 万円

9 月定例会

◎一般会計補正予算（第 5 号）…………… 補正額 595 万円

・総合福祉センターのボイラー改修費増額予算 595 万円（総額 2,220 万円）

【内容】物価高騰による工事費高騰への補填 【財源】基金繰り入れ

◎職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正議案

◎職員の育児休業に関する条例の一部改正議案

【内容】人事院の「公務員人事管理に関する報告」で、「仕事と生活の両立支援の拡充」に係わる項目が明らかにされ、次の 2 項目は本年 10 月 1 日から実施措置を講ずる必要があるの
で上程した。

①育児時間の取得パターンの多様化を保障すること。

②仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認を行うこと。

最終日の討論内容

予算決算特別委員会・常任委員会で審議された認定案件、議案、請願・陳情などは議会最終日に討論・採決します。主な案件の審査結果・討論で出された意見を紹介します。

令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定

内 容：令和6年度池田町一般会計予算執行後の決算認定

審査結果：全議員の賛成で「認定」した。

〈賛成討論〉

【薄井孝彦議員】

令和6年度、初めて「企業版ふるさと応援寄付金」を確保したこと「ふるさと応援寄付金」が過去最高の1億2500万円となったこと、東日本文化財団の助成金を用い、「岡 麓終焉の家」を修繕したことは評価できる。町財政は改善傾向にあるが、経常収支比率は0.2ポイント高くなっており、更なる経費の見直しと財源確保を要望し、賛成討論とする。

【服部久子議員】

令和6年度途中から学校給食費を無償化し、多子世帯の保育料を減免した。引き続き生活支援の実施を求め、賛成する。

令和7年度一般会計補正予算（第4号）

内 容：提出した補正予算を訂正し、農業法人出資金180万円を減額した訂正予算とした。

審査結果：賛成多数で「可決」した。

〈賛成討論〉

【三枝三七子議員】

町長の決断により、提出した補正予算から農業法人出資金180万円を減額したことが農業関係者の信頼を取り戻し、良い方向に向かうと期待している。そのためにも、農業法人信州池田アグリ株式会社が既存の営農法人の支えとなり、しっかりした基盤を構築することを望み、2023年12月の農業振興協議会の答申総括も願う。

【矢口結以議員】

旧会染保育園で来年度から有限会社ネイチャーセンターが民間保育園を開設するための改修予算が盛り込まれた。改修により、子どもや職員が安心して過ごせる場となよう開園に向け、滞りなく進めるようお願いし、賛成討論とする。

請願・陳情

●高額療養窓口負担引き上げの中止・撤回を求める陳情

内 容：高額療養費の限度額の引き上げの中止・撤回を求める。

審査結果：全議員の賛成で採択。

〈賛成討論〉

【服部久子議員】 限度額の引き上げは患者の命を脅かすことになるので賛成する。

●柏崎刈羽原発の再稼働見直し及び長野県民の意思を確認する意見書提出を求める陳情書

内 容：柏崎刈羽原発で重大事故が起こった場合、長野県民に大きな被害をもたらすため再稼働に反対する。再稼働決定には長野県民の意思確認を求める。

審査結果：賛成多数で「趣旨採択」

〈賛成討論〉

【三枝三七子議員】 原子力災害は全ての生存権を奪うことを理解し、採択して欲しい。

参考：本陳情は総務福祉委員会で審議され、賛成多数で「趣旨採択」であった。

「趣旨採択」の意見は下記のとおりである。

- ・ 陳情の趣旨は理解できるが、本陳情書は陳情書の様式に沿っていないため、分かりにくい。このままの陳情書を池田町議会の陳情書として出すのは適当でない。
- ・ 陳情先に、新潟県議会、柏崎市長がないのも理解できない。



主な議案の説明と 審査結果

8月臨時会
9月定例会
10月臨時会
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	矢口結以	三枝三七子	安部誠	山崎正治	大厩美秋	中山眞	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	横澤はま
8月臨時会	議案	財産の取得について(気化熱冷風機 8台購入)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について(簡易ベッド 1,604台・避難ルーム592張り購入)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度一般会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会	認定	令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度工場誘致等特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案	令和6年度水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度下水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		池田町特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(選挙に係わる特別職職員の日額報酬改定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		池田町議会議員及び池田町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正(選挙運動用ビラ・ポスターの作成単価の引き上げ)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度一般会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
		令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		穂高広域施設組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について(トイレカー 2台購入)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について(トイレトレーラー 1台購入)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度一般会計補正予算(第5号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願・陳情	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		高額医療費窓口負担引き上げの中止・撤回を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		柏崎刈羽原発の再稼働見直し及び長野県民の意思を確認する意見書提出を求める陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	発議	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
		「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
		高額療養費窓口負担引き上げの中止・撤回を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月臨時会	議案	令和7年度一般会計補正予算(第6号)について	可決	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○

※横澤議長は通常は表決に加わりません。

● 9月定例会・10月臨時会の概要

9月定例会は9月1日から9月18日まで行われ、認定4件・議案14件を審議し、全てを認定、可決しました。また、請願2件・陳情2件を審査し、陳情1件を除き採択し、関係機関に意見書を送付しました。10月臨時会は10月7日に開かれ、一般会計予算に農業法人出資金(180万円)を追加する補正予算議案を審議し、賛成多数で可決しました。

8議員が町政を問う！！

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考えを基に、町長や教育長などの考えを問うものです。

質問者	主な質問事項
三枝三七子議員	・池田町における農業の在り方について 信州池田アグリと農振協方針
中山 眞 議員	・町の人口減少対策は何を基に行うのか ・美術館の運営問題を問う
矢口 結以 議員	・空き家活用促進の新たな可能性を問う ・空き家活用の先進事例を導入する考えは
山崎 正治 議員	・池田町のブランド化で交流人口の拡大を ・池田町の真の教育改革とは ・戦後 80 年、平和教育の現状を問う
服部久子 議員	・子どもの権利条約に基づく取り組みを ・保育環境と保育士の待遇を問う ・補聴器購入の補助を求める ・近視の児童・生徒に対して、町の具体的対応は
薄井 孝彦議員	・人口減少対策の全体像を町民に説明を ・都市計画マスタープランの早期変更を ・町農業の振興策を問う
大出 美晴 議員	・広津地区展望台の環境整備を ・農業法人の考え方について ・旧北保育園の見直しは ・民間保育園を増やしていくのか
安部 誠 議員	・地域循環型社会の賑わいをつくる方策は ・地域資源の活用とゼロカーボン社会の推進を

お し ら せ

池田町議会

町民と議会の 語る会

場所：池田町役場2階中会議室

10月27日(月) 19:00～20:30

- ・防災のこと
- ・教育のこと
- ・商店のこと
- ・農業のこと
- ・困ったこと
- ・公共交通のこと

みなさんのお考え、思いをお聞かせください。

オンライン参加もできます

【ZOOM】

ミーティング ID:

813 2411 4128

パスコード: 807056

プログラム

9月議会の報告と

町民の皆様とグルーフトークで、
話したり、意見・要望を
うかがいます。

申し込み不要・入退場自由



池田町における農業
の在り方について

三枝三七子 議員

問 池田町の農業問題を解決するために農業振興協議会は全10回の会議を開催し、令和5年12月4日に最終答申を行った。答申内容は、社口原に偏り、町全体の農業計画とは言い難い。当時は最終答申の事実確認を精査せず、町の方向とした。翌年の3月議会で、その答申どおりに新農業法人「信州池田アグリ株式会社」（以降、アグリ）の設立のため、町からの出資300万円が、議会承認され、6月に設立した。しかし、事業は何ら行われていない。現状、社口原の耕作もされず、利用権の設定もされていない。説明を求める。

町長 アグリについては、9月3日臨時株主総会で、正式に丸山代表取締役の辞任が承認され、私の新代表就任が承認された。営農活動は、指摘の通り行っていない。アグリ経営会議は今までに7回開かれたが話がまとまらず、社口原の利用権設定もできず、また、営農計画も明確にならず、実働人員もいなかった。法人の収支は、収入はなく百十万円の借入れを行い、支出詳細は会社設立費用約30万円と、代表の報酬60万円、合計で約百万円の経費が発生し、出資金を担保に「JA大北」から借入れした。社口原の利用権は臨時総会直前にアグリの設定が完了した。



町の人口減少対策
は何を基に行うのか

中山 眞 議員

問 町は2015年に人口1万人台を割り、国立社会保障・人口問題研究所の推計通り2025年には高齢化率が40%に達し、生産年齢人口が50%を下回る推移を示している。正に予測どおりの結果となってきた。今の町の人口は約9050人で、このままでは間もなく8000人台に突入する。町長の考える人口減少対策は何を基に、どう人口動態を捉えているのか。

答 人口減少対策の方針は①成果目標、②町政の運営方針、③最重要施策、④キャッチフレーズである。これを基に具体的施策を検討していく。ある程度ゆるやかな人口減少もやむなしと捉えている。

問 住宅事情（移住したくても住む家がない）が町の最大の課題と前町政時代から叫ばれて10年以上が経つが、その対策には民間事業者頼みの施策が続く。今後住宅確保をどのように展開していくのか。

答 土地利用計画の改定が今年始まる。何らかの規制緩和を図り、今の状況を改善したい。土地開発公社がない現状で、情報提供など不動産業者や住宅メーカーと密に連絡を取り合っていく。



空き家活用促進のため
新たな取り組みの
可能性を問う

矢口 結 議員

問 空き家の購入や売却する際、以前に住んでいた方の残置物の整理が困難であるという声もある。片付けや処分に相当な費用と労力がかかり、利活用の妨げになっている現状を町としてどのような支援や対応を考えるか。

答 「空き家バンク活用事業補助金」で、片付けや整理費用として最大30万円まで補助している。前提として池田町空き家バンクに登録されている必要があるため、今後も広報活動を通じて、より多くの空き家所有者の方に空き家バンクへの登録を呼びかけていきたい。

問 危険な空き家を放置すれば周辺地域に様々な影響が及ぼされる可能性がある。対応期間や優先順位について、町長はどのような考えか。

答 町が個人の財産に介入することはハードルが高く、極めて慎重に行うべきである。紙面での勧告や指導も大事だが、担当者が所有者と粘り強く対話し、信頼関係を築くことが最も重要だと考える。行政代執行はあくまで最終手段である。

問 空き家の解体後、活用しにくい土地について町としての対応は。

問

7回の経営会議で話がまとまらなかった理由はなにか。

答

筆頭株主である池田町・JA大北の出資比率が同率で、過半数ではなかったために、町が方針を出しても、結局、会社の方針とはならなかった。今回、町が主導権を握らなければいけないという考えに至ったのは、町の方針とアグリの会社の方針は統一すべきだという事が明確になったためである。

農振協の答申と現実との乖離はどうなるのか

問

農振協会長が作成した答申の計画についてどうであったのか、はっきり示されるべきだと思うが。

答

計画で社口原は、すぐに試験栽培・作物を植え付ける内容もあったが、実際に着任時に土壌調査をしたところ、全く作物を試験栽培するような状態ではないことがわかり、すぐに進められないことになった。

町長 答申は答申であり、取捨選択ははっきりさせていく考えである。課長も話した通り社口原の関係は農協とも話し合い、何とかできないかと持ちかけたが、「難しい」と断られた。人的な問題（庁内・農業委員会）も、ギリギリで今、やってもらっている状況だ。第3セクターとなれば最初の3年間期間を定め職員派遣ができる。しっかりとやっていきたいと考える。

意見 当町、後継者・農地の問題は深刻だ。既存の営農法人をしつかりと支えてほしい。



問

「ただいま★いけだまち」は「10年経ってもぶれない」をスローガンにしているが、Uターン政策だけで進めていくのか。

町の主要産業は農業。農業を補完しながら、それに商店街の活性化やまちづくりが付随していく。Iターン施策で、住む家とともに働き場の確保で農業者の誘致や育成を前面に出した移住政策が重要では。このIターン施策をどのように捉えているのか。

答

SNSなどの情報発信や移住ツアーによる町の案内と共に、都市圏でのセミナーや移住者への各種補助など行っている。就職支援やお試し住宅など池田町を中心とした職探し、住宅探しを支援していく。

美術館の運営問題

問

美術館指定管理事業者の公募・審査の課題点は、その場のプレゼンの内容ではなく、その信ぴょう性、実効性を見極めることが重要。しかしその場での判断は難しい。現状は美術館スタッフ任せの運営と捉えている。公募・審査のやり方を見直すか、町営に戻すか、町長の考えは。

答

令和8年度以降3年間は指定管理方式を継続する。これまでの反省から、審査会前に提案内容が実現可能か精査していく。



答

10月から、空き家解体撤去事業補助金を改定する。隣接する複数の建物を解体し、アパートなどを建設する場合に最大100万円の加算補助を行うことで、土地の活用を促進したいと考えている。

問

地区毎の空き家相談会や講座を実施し、住民に「自分ごと」として考える機会を提供できないか。

答

昨年度から連続講座を開催するなど、空き家問題を自分ごととして捉えてもらう取り組みを進めている。空き家所有者が町外にいるケースも多いため、町としては固定資産税の納付書にチラシを同封するなどの工夫でアプローチをしている。まずは定期的な相談会が現実的だと考える。

空き家活用先進事例を導入する考えは

問

高知県ゆすはら橋原町では高齢者が大きなりフォームをせずに暮らすケースが多くあり、空き家になった際にはすぐ住める状態ではないという実情があった。町が空き家を借り上げて改修し、10、12年という期間、家賃を設定して貸し出し、最終的には所有者の手に戻るという事業を取り入れており、国の補助も受けられる。まずは1件でも導入できないか。

答

橋原町の取り組みは注目すべきだが、当町には不動産業者があり、橋原町とは状況が異なる。そのため、現時点では同様の事業の実施は考えていない。





池田町のブランド
化で交流人口の
拡大を
山崎 正治 議員

問 北アルプス展望美術館、創造館、クラフトパークを基軸とした池田町のブランド化を要望するが。

答 「日本一 北アルプスが美しい町」としてのアピールに向け、今後クラフトパーク運営協議会を中心に幅広いご意見・ご提案等をいただきながらクラフトパーク全体の活用について検討する。

問 クラフトパークをわかりやすい名称（北アルプス展望公園）で、誘客人口の拡大を。

答 今後の発信時にクラフトパークの名称の前に「北アルプスの展望が抜群」、北アルプスパノラマビュー」など副題、サブテーマを併記する等も考えられるが、基本的に名称変更は慎重に対応する。

問 「日本一 北アルプスが美しい町」をアピールするために、クラフトパーク周辺のフラッシュアップを。また、創造館の庭に展望テラスを設置し、クラフトパーク駐車場での朝市を開催できないか。

答 定電力メラのライブ配信は、創造館で実施している。これからも北アルプスと田園風景をわかりやすく配信する。展望テラスの設置は、関係各所で協議していく。朝市の開催は事業者や団体があれば検討する。幅広い活用・アイデアで真のブランド化を目指す。



子どもの権利条約に
基づく取り組みを
服部 久子 議員

問 日本の青少年は、精神的幸福度や自己肯定感が低く自殺率が高い。国連子ども権利委員会から「教育制度の過度な競争」「自己の事柄に自由な表現が尊重されていない」など勧告が何度も出ている。子どもの権利条約を活かして、子どもが自由に意見表明ができ、自立心を持つ主権者教育を進めるために子どもの権利条例制定の検討を求めるが。

答 条例を制定する考えはない。町の教育大綱は、どの子どもありのままを尊重し、主人公は子どもたちと明記され、子どもの権利条約と重なる。子どもの権利条約の精神を実践に結びつけていく。

問 子どもの権利条約を広く町民、若者、教育関係者に知っていただくために講演会や町民同士の懇談会などを計画し、普及に努めてほしいが。

答 今後、公民館講座などと合わせながら検討したい。

問 保育環境と保育士の待遇を聞く

答 全国の保育施設の8割が人材不足となっている。その原因は、給料が安い、休暇が取りにくい、労働時間が長い、仕事量が多い等である。池田保育園の現状を聞く。

答 職員は不足しているが、代替職員の登録を増やし、休暇の確保や仕事量の軽減に努めている。



人口減少対策の全体
像を町民に説明を
薄井 孝彦 議員

問 昨年の町民ミーティングで出された意見を基に、人口減少対策の全体像を明確にし、議会・町民と意見交換を行って欲しいが。

答 来年度予算の編成時までに町民ミーティングを反映した対策をまとめ、話し合いができるようにしたい。

問 都市計画マスタープランの早期変更を

答 町の土地利用や施設配置などの将来像を示す「都市計画マスタープラン（以降、マスタープラン）」は平成18年に定めてから20年が経過した。急速な人口減少など社会状況は大きく変わっており、変更が必要である。しかし、当町では変更されていない。都市計画法では、「変更の必要が生じた時は、遅滞なく変更しなければならない」と定めている。町の対応を問う。

問 マスタープランの変更には多くの費用を要する。町はマスタープランの変更は国の財政支援がある「立地適正化計画（※）」の策定と一体的に進める。町民の意見を十分に聴く必要があるが、策定には4年ほどかかり、令和10年の完成を予定している。

答 ※人口減少社会に対応した持続可能な都市構造を目指す計画。

問 町農業の振興策を問う

答 国に農業への所得補償制度の導入や農業予算の大幅増を求めているが。

池田町の真の教育改革とは

問 義務教育のあり方検討委員会の現状と課題について問う。

答 当初は今年の11月に答申の予定だったが、今年度中には答申をあげる予定である。内容については、どのようなものになるかわからない。

問 現状維持及び再編のメリット、デメリットの集約状況は。

答 少子化を見据えた小中学校のあり方は、現状のままという意見と、統合等、何かしらの対応が望ましいという意見は半々である。

問 義務教育にどのような質の学びが必要か。今回示した「開示悟入※」の教授法に対する考えは。

答 保小中を通じての「協働的な学び」を柱とした保育・授業づくりを進めており、「開示悟入」の考えと目指すものは同じである。

※「開示悟入（かいじごにゅう）」の教育法とは、子どもの知りたい自発性を開く教育法である。

戦後80年、平和教育の現状を問う

問 義務教育の中で平和教育の現状と未来（課題）は。

答 平和教育は、社会科の歴史学習、総合的な学習の時間に実施している。今後とも平和教育の大切さを学校職員と共有し、取り組みを続ける。

問 社会教育の中で平和教育の推進は。

答 「上原良司を偲ぶ会」や、みのり塾の講座のなかで検討していく。



問 保育士配置基準が、昨年、軽減されたが、町の基準を訊く。

答 保育士1人に付き、0歳児は3人、1歳児は5人、2歳児は4人、3歳児は14人、4歳児は24人、5歳児は23人と、国の基準に基づいて運営している。

問 2・3号認定の保育時間内で、保育士が変わる状況があるか。保育資格を持たない人が従事することがあるか。

答 2・3号認定の時間内で15時から16時まで1人の保育士が変わる。保育資格がない人は従事していない。

補聴器購入の補助を求める

問 補聴器の購入補助は、松川村、大町市などが実施している。前回回は、近隣市町村を調査し検討する、と回答した。町の考えを問う。

答 松川村、大町市、安曇野市は、上限3万円の補助をしている。松本市、塩尻市は前向きに検討の方針。松本市、塩尻市の対応を見て検討する。

近視の児童・生徒に対して町の具体的対応は

問 眼鏡が必要とされる子どもに対して町の対応が具体的にない。日常生活や学習に影響があるので、専門医の診療や眼鏡購入に繋ぐ対応を求めるか。

答 対象児童の家庭に受診の知らせをしている。昨年給食費の無償化を実施しており、眼鏡購入補助は考えていない。



答 伝える方法を検討したい。

問 町農業の担い手を増やす方策として、農業関係の地域おこし協力隊員の募集増を。

答 担当課で管理できる隊員は5人なのでその人数を維持していきたい。

問 国の「集落支援員」制度を活用し管理をお願いすれば、隊員を増やせるのでは。

答 検討する。

問 現在、農業を営んでいる方に、農業機械購入補助金などの支援強化策を。

答 町独自の農業機械購入補助金の創設は困難である。他市町村の補助制度は研究していく。

問 米のブランド化の推進を。

答 池田町の米は美味しいことをPRするとともに、ブランド化については大北農協と協議していく。

問 「池田町ふれあい農園」の募集情報は町ホームページのパナーから繋がる措置を。

答 パナーの設置はスマホ画面が見えにくくなるので困難である。しかし、移住定住パナーからつながるようにする。

意見 「ふれあい農園」から景観の素晴らしいさも併せてホームページに載せて欲しい。



「ふれあい農園」からの素晴らしい景観





広津地区展望台の
環境整備を
大出 美晴 議員

問 植林と展望台をどうとらえるのか。
広津地区における展望は、未来を想像しながら場所の選定をしなければならないと思うが。

答 この場所については、地元自治会が環境整備の一環として「元気なまちづくり事業補助金」を活用し、展望スポットとして整備した。

展望台周辺の森林は国庫補助事業を導入し整備した森林でもあるため簡単に伐採はできない。しかし、町の補助金を活用した展望スポットでもあり、10年以上経過するので、森林組合等の林業事業体に新たな森林整備を働きかける。

農業法人の考え方について

農業法人の具体的な進め方を問う。

問 9月3日から私（町長）が信州池田アグリ株式会社の新代表に就任することが株主総会で承認された。地方自治法の関係上、就任には会社の株式を2分の1以上取得することが条件となる。今後、会社運営は町の意向が反映され、かつ職員の派遣も可能になる。これからは営業規模を問わず農業者の意見を



地域循環型社会で
賑わいをつくる方
策は
安部 誠 議員

問 地産地消の推進のために、常設直売所が必要と考える。見解を問う。

答 ハーブセンター内とJA池田支所隣接のコンビニエンスストア内の農産物直売コーナーを充実するよう協議するのが現実的である。

問 直売所は観光客の町産物購買の場となり、産業振興の推進に繋がる。町長の見解を問う。

答 行政が販売するのは難しいので、生産者の方とつながる仕組みを作っていくのが重要である。信州池田アグリ株式会社が公的になるので会社で取り扱うものがあれば、十分に対応できると思う。

問 信州池田アグリ株式会社が実際稼働していくまでの町の対応を問う。

答 生産者と販売者のマッチングが大事である。ニーズがあれば、地産地消はエネルギー消費も少なく、脱炭素にも繋がるので、強化していきたい。農業者の声をしっかりと聞きながら、一番適した方法を探っていく。

問 小規模農家への地産地消の取組みの支援として、若い人に農作物の生産に興味を持ってもらえるようなイベントやセミナーを開催できないか。見解を問う。

答 県や農協等が実施する講習会やセミナー等と共催を模索していく。農業分野で着任した地

「いけだまち議会だより」の表紙について

議会報編集特別委員会では表紙を新たなデザインにしようと試みています。

これまでの表紙は町の風景や子どもの活動などを中心として来ましたが、全国の優れた「議会だより」を参考に、「各定例議会の内容がひと目でわかる表紙」にすることで、議会への関心を高めていただき、町民の皆さんに議会をより身近に感じてもらえたらと考えています。

No.147号では、議員の一般質問のテーマを一覧で紹介させていただきました。これは、議会でどのような課題が話し合われているかを知っていただくための新しい試みです。

これからも、議会活動への理解を深めていただけますよう工夫を続けて参ります。引き続き、「池田町議会だより」にご注目いただきますようお願い申し上げます。

議会報編集特別委員会委員長 薄井孝彦



聴取集約することを継続的に行うことが重要と考える。

旧北保育園の見直しは

建物の解体を進めるのか。

問

答 旧北保育園は公共施設としての活用を考えていない。民間事業者への売却を考えており、出来れば不動産業者等に購入していただき、住宅等の利用を考えている。ただ民間活用を否定するものではない。地元自治会の役員会に職員が出席し、町としては手放す方向を考えている旨は伝えてある。今後も話し合いを行い、理解を得ながら進めていく。

問

多様化の時代に向けた考え方が必要になってくるのでは。民間保育園を増やしていくのか。

答

一概に公立園と私立園の良さを比較することはできないが、こども園においては「選択できること」が大きなポイントになると考える。今後も新しい民間こども園との情報交換を積極的に行う予定になっている。教育委員会とも話し合っており、今後の方向性を考えていく。



広津地区展望台
周りの木が伸び景色が見えない



域おこし協力隊が5人いるので、アイデアを出して検討していく。

問

ハーブを使ったB級グルメコンテストで町飲食の活性化と地産地消で地域振興を図る価値はある。見解を問う。

答

以前、振興公社とハーブセンター主催のハーブッキングコンテストが開催され、多くのレシピが誕生し、レシピ本も販売された。これらを活用し、キッチンハーブの普及を検討したい。

地域資源の活用とゼロカーボンの推進

問

日経新聞2025年5月6日の「汚泥肥料、新潟で広がる、自治体生産、下水や浄化槽由来」の記事で、廃棄物の削減と肥料の安定供給が期待されている。そこで、終末汚水処理場の汚泥の処理状況を問う。

答

6年度の発生汚泥は重量換算では4万2千143tである。場外搬出の脱水汚泥は536tで、そのうち3分の2の358tを土壌改良剤や肥料化し、3分の1の178tはセメント等の材料としての処理である。

問

汚泥肥料は廃棄物資源の活用と農業支援にもつながる。新潟の事例検討に対する町長の見解を問う。

答

脱水汚泥の処理は事業所においている。担当課に指示し、皆さんと一緒に処理の見学を計画したい。一方で細かなプラスチック成分の混入も配慮しなければならず、今は現状の処理方法を進める。



陳情・請願

「さらなる小人数学級推進と教員増のための教育予算確保」「義務教育国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願

請願団体：長野県教職員組合大北支部池田町単組

【内容】

子どもに寄り添った教育を実現するため上記の項目を国・県に要望する。

【審議結果】全議員の賛成で「採択」

高額医療費窓口負担引き上げの中止・撤回を求める陳情

陳情団体：中信健康友の会池田支部

【内容】

高額医療費の負担額上限引き上げは治療継続が困難になるので撤回を国に求める。

【審議結果】全議員の賛成で「採択」

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願

請願団体：長野県教職員組合大北支部池田町単組

【内容】

教員の過重労働の原因となっている

国の学習指導内容を精選するよう国に要望する。

【審議結果】全議員の賛成で「採択」

柏崎刈羽原発の再稼働見直しと長野県民の意思を確認する意見書提出

陳情団体：池田町町民有志

【内容】

柏崎刈羽原発で事故が起きれば長野県への環境的被害は免れない。長野県民の声を聞くべき。

【審議結果】賛成多数「趣旨採択」

池田町
良いトコロ！
こうなれば
もっと良イイ！

このページは、皆さんの町政・議会へご意見や、お考えを掲載しています。次回は12月定例会です。取材に行きましたらご協力下さい。



山本まき子さん
地区：花見

① 町のよいところ

静かな所がよいことでもあります。

② こうなればもっとイイ！

もっと交流の場や出かけたくなるイベントがあれば。スポーツ、文化活動など日頃の集まりを紹介して頂ければ、新しい出会いになるのでは。



ななと
西虹音さん
(高瀬中1)
地区：坂下

① 町のよいところ

山に囲まれて自然が豊かな所がイイ。

② こうなればもっといい！

正直、高齢化とか言われていて、この町の人を増やせることがあればいいな。
大きなショッピングモールとかあればいいかなとも考えたけど、自然はどうなるんだろうって…考えている。



A・S さん
地区：南台

① 町のよいところ

近隣の方とのかかわりが、適度な距離感で良い…！

② こうなればもっとイイ！

子供と歩いて行ける場所に公園が欲しい。
子供とお年寄りにとって、交通の便が良くなって欲しい。



① 町のよいところ

人が親切だと思う。横断歩道でも止まってくれ
る！東京で渡り終わって
お辞儀したら驚かれ、拍
手された。

② こうなればもっといい！

私たちが、遊びに行けると
ころがあればいいのに。雨
が降った時や暑い日にも遊
べる所があればうれしい♪



じゅんこ つむぎ
西 絢子さん・紡希さん
(会染小4)
地区：坂下

【編集後記】

今年の夏の猛暑は、今までに経験したことがない気候でした。急激な気候変動に危機感を持たれた方が多くおられたのではないのでしょうか。早急にCO₂を出さない再生エネルギーへの転換を実施する必要があると感じました。

議会報編集委員になり、若い方にも「議会だより」を読んでもいただけるよう、10代、20代の若者や子育て世代の生活・思いに密着した施策を行政から引き出し、議会の取り組みを掲載していきたいと考えています。気が付かれたご意見・ご要望などを気軽に寄せてください。よろしく願います。

【議会報編集特別委員会】

委員長 薄井孝彦
副委員長 服部久子
委員 三枝三七子
安部 誠
和澤忠志

次回議会だよりは令和8年1月28日(水)を予定

発行/池田町議会 ©企画・編集/議会報編集特別委員会

●住所 長野県北安曇郡池田町大字池田3203-6(池田町役場内) ●TEL: 0261・62・3131 ●FAX:0261・62・9529
●E-mail:gikai@town.ikedamagano.jp ●ホームページ:https://www.ikedamachi.net/